

西暦 2020年5月13日

再生医療等技術専門員評価書

カメイクリニック 2 認定再生医療等委員会殿

(氏名) 亀井康二

芦屋JSクリニック水谷より提出された再生医療等提供計画における科学的観点での評価について以下のとおり報告いたします。

提供する再生医療：自己多血小板血漿(Platelet-rich plasma:PRP)を用いた顔のしわ・たるみ改善療法（提供計画番号： 01E2004017）

技術専門員の専門分野：形成外科、美容外科

治療の妥当性：あり

専門的評価

1. 再生医療の特徴

当該再生医療の対象となるものは、老化による明らかな組織の変形、萎縮があり、その再建を希望するものである。従来、この病態の治療には、脂肪移植、ヒアルロン酸注入などが用いられてきたが、脂肪移植は脂肪の採取、生着率、感染、将来的な移植脂肪の増大などの問題点が指摘されている。また、ヒアルロン酸注入は、吸収性の問題や違和感がある場合がある。また、血管に入った場合、血管閉塞などの重大な問題を引き起こすことがある。その点、この多血小板血漿を用いた再生医療はそれらの問題をクリアーした傑出した治療法である。

2. 注意すべき点

添加する bFGF の量によっては、過剰な組織増殖を起こすことがあり、適切な添加量を超えないようにするべきである。

3. 考えられるメリット・デメリット

メリットは血小板の採取が容易であり、患者の身体的負担が少ないことである。また、患者自身の細胞が増えることによって治療が行えることであり、異物を注入する治療とは異なって、将来的にも安全性が高いことである。デメリットは自己免疫疾患や高齢者では組織反応が弱く、所定の治療効果が得られないことがある点や、bFGF の添加量によっては過剰な組織の増殖を見ることがある点である。

4. 総評

多血小板血漿を用いた再生医療は、他の治療法に比べて、患者の身体的負担が少なく、血管閉塞のような重大な合併症も見られず、大変優れた治療法である。